

# バリアフリー・インターナショナル

## 3D顔認証の入退室管理 山梨県内の病院で誕生

バリアフリー・インターナショナル（千葉県美浜区中瀬2-6、後藤幹太社長、TEL043-239-7440）は、山梨県内の財団法人H病院に、3D顔認証システムによる入退室管理システム、及び火災時の安全確保や不審者侵入防止と院内徘徊者の防止など、総合的なセキュリティシステムを納めた。11月から本格稼働する。顔認証システムを核とする、導入

した病院は国内でも例が殆どなく、注目されそう。導入に当たって、病院側から「新棟の3階建て3棟を建築するのに伴い、特に入退室管理に関して、病院内セキュリティの高度化と充実化を図りたい。しかも、可能な限りITの有効活用による労力効率化とコスト削減も実現したい」。また「患者はもちろん、病院職員、医師、来客の安全を考えるほか、入退室管理にICタグは必須と

し、特に入退室等重要な個所にセキュリティシステムを約80か所に導入する計画。その内、顔生体認証は約20か所。更に、電子錠や監視カメラ等と連動し、不法侵入にも迅速な対応ができる様になりたい。また、火災警報機と連携し、災害時には指定したドアが一斉開錠できる様にしたい」との要望があり、導入したのが、目のくぼみや鼻の高さなどで約4万点で立体的に判断する3D方式の顔認証システム「VisionAcc

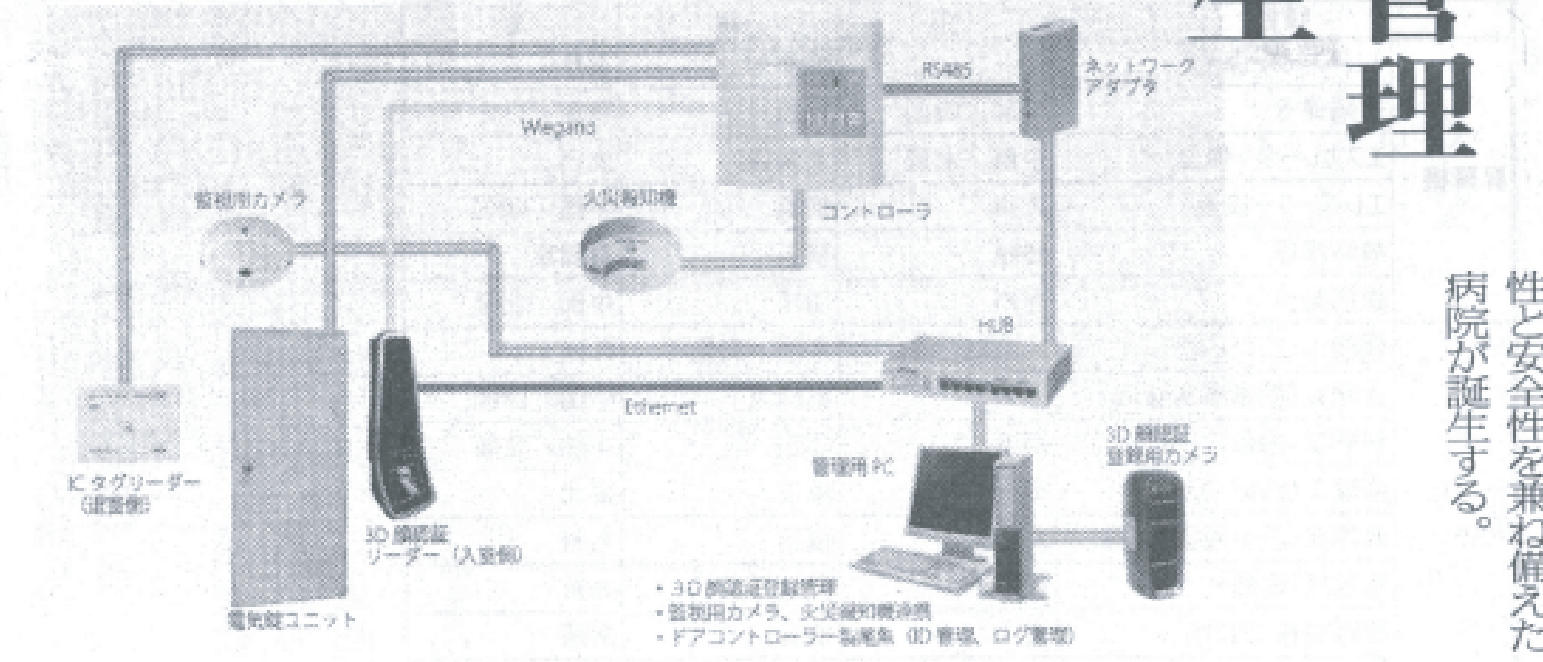
メラ、ICタグリーダー、火災警報機を連携させた高度なセキュリティと利便性・安全性を実現した

国内でも例を見ない、ハイテクかつ利便性

「cas」をリーダーに、電気錠ユニット、監視用カメラ

「cas」をリーダーに、電気錠ユニット、監視用カメラ

電気錠ユニット



性と安全性を兼ね備えた病院が誕生する。

- 3D顔認証管理
- 監視用カメラ、火災感知機
- FACSS（火災警報機）管理、ログ管理